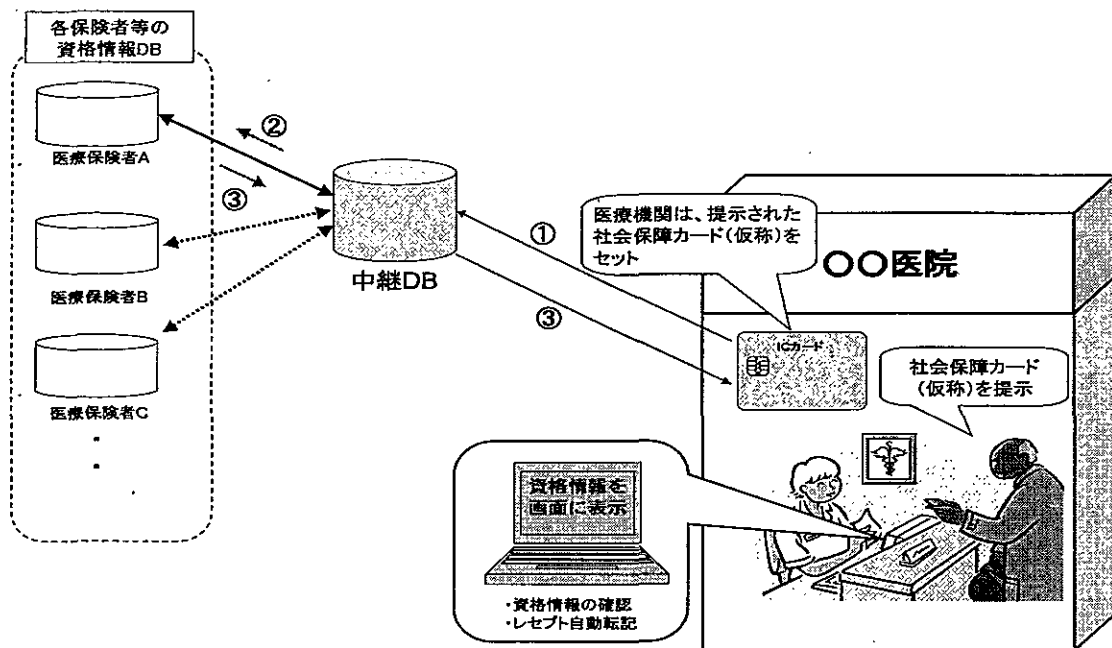


## 今回仮定したオンラインによる医療保険資格の確認・レセプト自動転記の仕組みのイメージ



- ① 利用者のカードを医療機関等のパソコン等の端末にセットし、中継DBにアクセス。
- ② 中継DBが利用者の属する保険者のデータベースにアクセスし、当該利用者の資格情報を要求。
- ③ 保険者のデータベースは、中継DBからの要求が正当であることを確認して、医療機関等の端末に利用者の資格情報を送信。また、当該資格情報をレセプトへ自動転記。

※ その他、中継DBを用いて保険者間の情報連携を行い、併給調整事務を円滑に行う方策を検討。その際、中継DBにアクセス記録を残すこと等の、プライバシー侵害に対する不安が極力解消される対応を検討。

5

## ICカードが使用できない場合の対応

- ここまでは、すべての利用者がカードを保有し、かつ、医療機関等にもカードに対応した環境が整備されていることを前提に検討を行ったが、以下のようなカードが使用できない状況も想定。
  - ・ カード導入後現行の被保険者証等からの移行期間
  - ・ 訪問看護や訪問診療等の場合
  - ・ 停電、ネットワークのトラブル、カードの破損等の場合 等
- このような場合にも現行の被保険者証等と同様の運用を可能とするためには、保険資格情報が記載された別紙を交付しておく、カード券面に本人を識別可能な情報を記載しておく、といった措置が考えられるが、制度的な対応、技術開発による代替手段の確立も含めて対応策を今後更に検討。

## カード発行の場合の発行・交付方法

社会保障制度の調整等の主体である厚生労働大臣を発行主体、国民にとってもっとも身近な行政主体である市町村を交付主体と仮定し、利便性、本人同定の確実性を踏まえた発行・交付方法を整理したが、実現可能性等を考慮し、今後更に検討。

## 関連し得る他の仕組み等の活用

社会保障カード(仮称)のためだけの新たな投資を極力避けるという観点から、以下の関連し得る他の仕組み等の活用について今後更に検討。

- 本人識別情報を格納する器として、住民基本台帳カードなどのICチップを搭載した媒体
- 公的個人認証などの認証基盤
- レセプトオンラインネットワークなどのネットワーク基盤
- 電子行政関連施策や電子私書箱(仮称)

6

# 社会保障カード（仮称）の在り方に関する検討会

## 検討会委員（50音順 敬称略）

池上 秀樹	健康保険組合連合会理事
稲垣 明弘	日本歯科医師会常務理事
岩月 進	日本薬剤師会常務理事
大江 和彦	東京大学大学院医学系研究科教授
座長 大山 永昭	東京工業大学大学院理工学研究科教授
後藤 省二	三鷹市企画部ユビキタス・コミュニティ推進担当部長
駒村 康平	慶應義塾大学経済学部経済学科教授
高山 憲之	一橋大学経済研究所教授
田中 滋	慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授
辻本 好子	NPO法人ささえあい医療人権センター COML（コムル）理事長
中川 俊男	日本医師会常任理事
樋口 範雄	東京大学法学部教授
堀部 政男	一橋大学名誉教授
南 砂	読売新聞東京本社編集委員
山本 隆一	東京大学大学院情報学環准教授

※ オブザーバー：関係府省

## 作業班員（50音順 敬称略）

御魚谷 武	保健・医療・福祉情報セキュアネットワーク基盤普及促進コンソーシアム(HEASNET)事務局次長
鎌田 博三	健康保険組合連合会IT推進部専任部長
河野 行満	社団法人日本薬剤師会医薬・保険課課長補佐
小松 文子	独立行政法人情報処理推進機構(IPA) 情報セキュリティ分析ラボフクトリー長
橋詰明英	保健医療福祉情報システム工業界(JAHIS) 医療ソフトウェア安全性検討プロジェクト委員長
細越正明	千代田区区民生活部総合窓口課長
本間祐次	東京工業大学統合研究院ソリューション研究機構 イノベーションシステム研究センター特任教授
町田昇	市川市情報政策部参事
松本明生	横須賀市企画調整部情報政策課長
谷内田益義	保健医療福祉情報システム工業界(JAHIS) ICカードシステム専門委員会専門委員長
矢野一博	社団法人日本医師会総合政策研究機構主任 研究員
山本隆一	東京大学大学院情報学環准教授